

株式会社
松竹映像センター
Shochiku MediaWorX Inc.



S t u d i o G u i d e

次の名作は「お台場」から生まれる。

松竹の知見と伝統を結集した次世代ポストプロダクション。

松竹映像センターが新天地に選んだのは、来たる世界的スポーツの祭典を見据え、再開発により脚光を浴びる東京湾岸・港区台場。

利便性の高い都心であり、海と摩天楼が一望できる環境を求めました。

映画・テレビドラマの仕上げからアーカイブ対応まで、お客様の創造性を発揮していただける空間をご用意して、幅広いニーズに対応していきます。

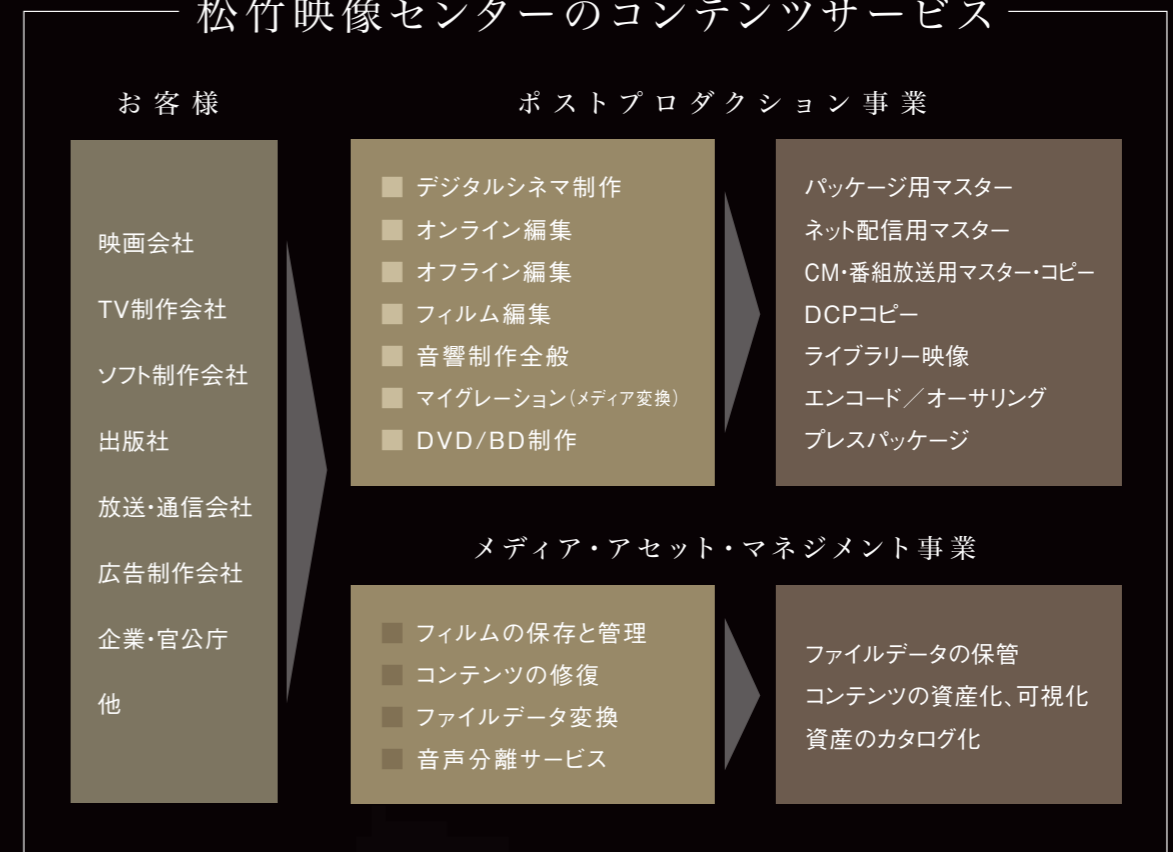
音響制作では、松竹大船撮影所で多くの名作を生み出してきたDubbing Stageをスケールアップ。

映像編集では、共有ストレージによるデジタルネットワークを構築して、リアルタイムで高いパフォーマンスをサポートする作業環境を実現。

さらにMedia Asset Management(MAM)では、旧作のデジタルリマスター制作に加えて、様々な映像作品のカタログ化やデジタル修復・保管・管理サービスを提供して、旧作の効果的な再活用を支援します。

松竹創立120周年を迎えて、蓄積してきた知見と伝統を継承しつつ、新たな映像コンテンツ制作の拠点となる新ポストプロダクションスタジオにどうぞご期待ください。

松竹映像センターのコンテンツサービス



松竹大船撮影所のDNAを継承し、
次世代を担う機能性とデザイン性を兼ね備えたDubbing Stage。



Dubbing Stage



数々の名作を生んできた松竹大船撮影所の系譜を汲む、新たなDubbing Stageが完成しました。

目指したのは「機能性とデザイン性が融合したクリエイティブ空間」。

アートフルな壁面デザインが印象的な空間には、ミキシングコントロールに
DSPカードを増設したSystem5ハイブリッドで多チャンネルのハンドリングを実現。

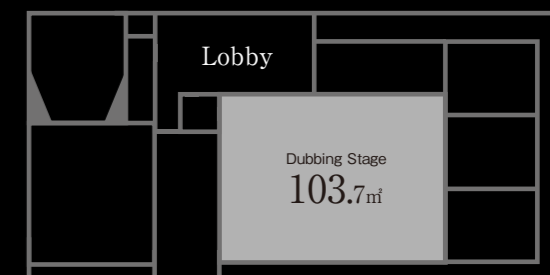
7.1サラウンドチャンネルにも対応し、

高い遮音性能と臨場感あふれる音響性能でクリエイターの想像力を刺激します。

Spec (Dubbing Stage)

Mixing Console / AVID : System 5 Nuendo 6 Hybrid system
DAW / AVID : Pro Tools 11 HDX1 X5
/ Steinberg : Nuendo 6.5 X2
Speaker / JBL : 3 Way Front 5732
/ JBL : Sub 4645C
/ JBL : Srround AC18/95
P.Amp / Lab.Gruppen : Front C88:4
/ Lab.Gruppen : Srround C28:4
Processor / Real Sound Lab : APEQ-8 pro
4K Projector / SONY : SRX-R515
Film Projector / KINOTON : FP 30 ECII

FLOOR GUIDE 1F



ゆとりの広さが魅力のアフレコステージ。
高い遮音性能を実現した新設のADR。



ADR

5.1chのシアター再生環境、
ダビングに向けた音響設計・編集にSound Design。



Sound Design



都心立地にして、20人以上は余裕で入れる十分な広さを実現。
録音効率を高めるとともに、NC値15を実現した遮音性を確保しています。
外国映画吹き替え、アニメ、ナレーションなど幅広いジャンルで、
クオリティの高いボイス収録が可能になります。

Spec <ADR>

Console / YAMAHA : DM1000VCM
DAW / AVID : Pro Tools 11 + Nuendo 6.5
Mic.Pre / RME : OctaMicII
Microphone / Neumann : U87ai
/ Earthworks : QTC40
Speaker / YAMAHA : MSP3
/ YAMAHA : SW10 STUDIO
/ Fostex : CW250A



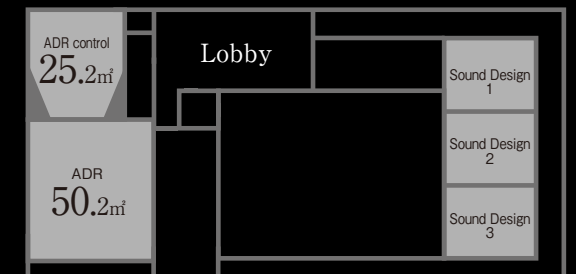
ダビングとの音色差を最小化する音響補正プロセッサーとして
APEQ-8 proを導入した音響設計・編集室Sound Designを3室ご用意。
Pro ToolsとNuendoの両方を備えています。



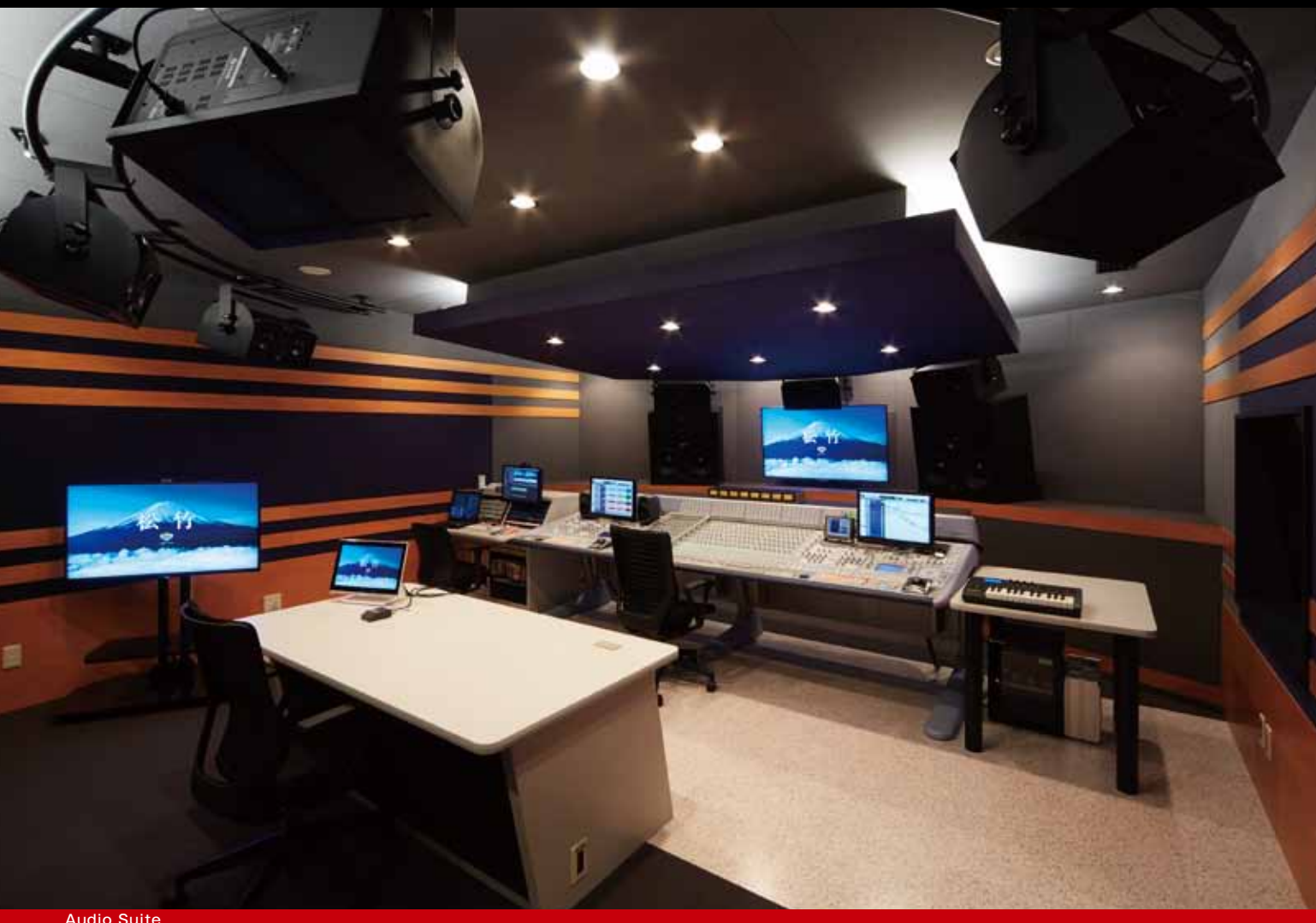
Spec <Sound Design>

DAW / AVID : Pro Tools 11 HDX1
Plugin / WAVES : Mercury Bundle
/ Audio Ease : Altiverb XL
/ Audio Ease : SpeakerPhone
/ iosono : anymix pro
Processor / Real Sound Lab : APEQ-8 pro
/ SSL : Alphalink SX MAD1
Speaker / YAMAHA : MSP3
/ YAMAHA : SW10 STUDIO
/ Fostex : CW250A
DAW Controller / AVID : Artist Control

FLOOR GUIDE 1F



7.1ch対応。
豊富なプラグインを備えたAudio Suite。



Audio Suite



ADAM AUDIOのX-ARTツイーターなどの技術により
細かなディテールも見逃すことなくモニタリング。
豊富なプラグインを備え、クオリティの高い音づくりを実現します。
またアナウンスブースは、マイクが並列3本立つゆりの広さを完備しています。

Spec <Audio Suite>

- Console / Avid : D-Control
- DAW / Avid : Pro Tools HD 4 ver,10.3.2
/ Avid : Pro Tools HD 2 ver,10.3.2
- Speaker / ADAM AUDIO : S5X-H (Main)
/ ADAM AUDIO : S3X-H (7.1chSurround)
/ GENELEC : 7270A (subwoofer)
- WorkVideo / Avid : Media Composer MOJO DX
- Plugin / WAVES : Mercury
/ McDSP : Emerald Pack HD5
/ Sonnox : Oxford SONNOX POST HD
/ etc

センターサーバーにより、
各種素材の変換を効率化するMachine Room。



Machine Room



AVID社製サーバーISIS5500を導入し
センターサーバーによるファイルベースワークフローを実現。
各部屋とファイルを共有することで
ストレスなく作業いただけるようになりました。

様々なフォーマットに対応し、過去の資産をデジタイズするIngest。



Ingest



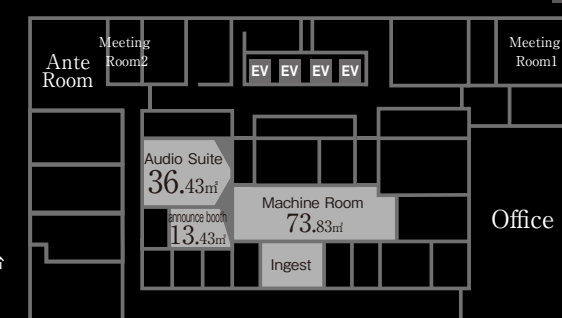
Spec <Machine Room>

- サーバー / Avid : ISIS 5500 96TB
- Sony : SRW-5500
- Sony : SRW-5800
- Sony : HDW-M2000
- Sony : HDW-1800
- コンバーター / BlackMagicDesign : Teranex 2D Processor

Spec <Ingest>

- インジェストマシン / MOG : mxf Speed Rail S1000
- エンコーディングソフト / Telestream : Episode Pro X 2台
- DVDオーサリングソフト / Daikin : Scenarist Pro
- DVDエンコーディングソフト / CINEMA CRAFT : Xtream Presto

FLOOR GUIDE 7F



ドラマの仕上げ、本編集(オンライン)に最適。
約37㎡の広さを誇るハイブリッドなEdit。



約37㎡の広いEdit 1を含む、3室をご用意しています。リニアとノンリニアの両方に対応するハイブリッド仕様。
ドラマの仕上げや本編集(オンライン)に、居住性の高い空間がクオリティの高い作品づくりをサポートします。

Edit



Avid

広い空間で
作業効率がアップ、
その眺望にも目を見張る
Avid編集ルームを
3室ご用意。

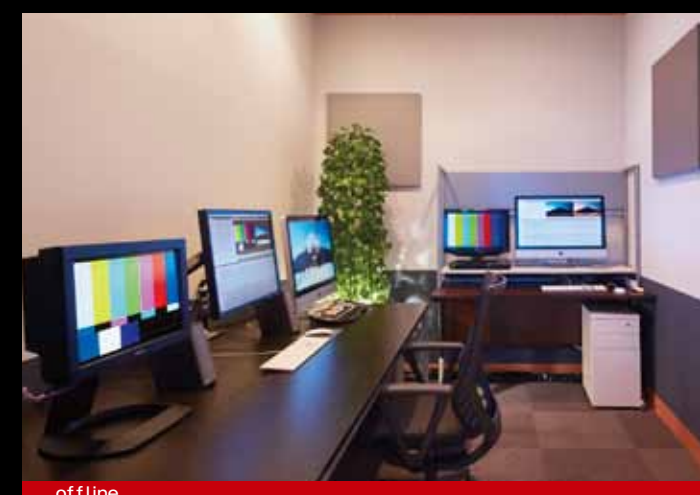
オフラインやオンラインにも対応した
約30㎡の広い空間で作業効率が向上。
扉の外にいれば、窓から見える
湾岸の風景も美しく、
爽快な気分で編集作業が行える
クリエイティブな環境をご提供します。
また、今後増えていくと予想される
4K編集にも対応予定です。

Spec <Avid>

ノンリニア編集機 / Avid : MC Nitris DX
モニター / EIZO : Flex Scan ワイドフォーマット対応
/ JVC : 21型液晶マルチフォーマット
スピーカー / YAMAHA : MSP3
クライアントモニター / SONY : BRAVIA 55V (2台)

機能性の高い個室が名作を生む。
offline編集ルームを4室ご用意。

Final Cut Proを導入したノンリニア編集ルーム。



offline

Spec <offline>

Apple : Mac Pro
AJA : KONA 3
Apple : iMac
AJA : Io XT
Apple : Final Cut Pro
Adobe : Creative Cloud



Spec <Edit 1>

ノンリニア編集機 / Quantel : eQ Ver.5.3
スイッチャー / Sony : MVS-7000X
編集機 / Sony : Plugin-Editor
キャラクタージェネレーター / Videotron : ST-350HS

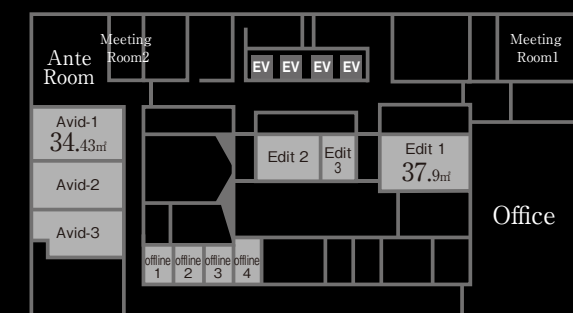
Spec <Edit 2>

スイッチャー / Grass Valley : KAYAC HD200C
編集機 / Sony : BVE-9100
キャラクタージェネレーター / Videotron : ST-350HS

Spec <Edit 3>

スイッチャー / Grass Valley : KAYAC HD100C
編集機 / Sony : BVE-2000
キャラクタージェネレーター / Videotron : ST-390

FLOOR GUIDE 7F



映像資産をデジタル技術で修復し、
アーカイブシステムまで構築するメディア・アセット・マネジメント(MAM)。

ポストプロダクションの経験を生かし、納品物を事前チェック。
万全のQuality Controlをご提供。



Media Asset Management (MAM)



Quality Control

MAM メディア・アセット・マネジメント(アーカイブ)



映画で培ったポストプロダクションのノウハウで、映像資産をデジタル化し、検索可能にします。

今まで眠っていた大切なフィルム、テープ等を映像資産として有効活用出来るようにサポートします。

映画会社として日本初となる本格アーカイブ(MAM)システムを導入。

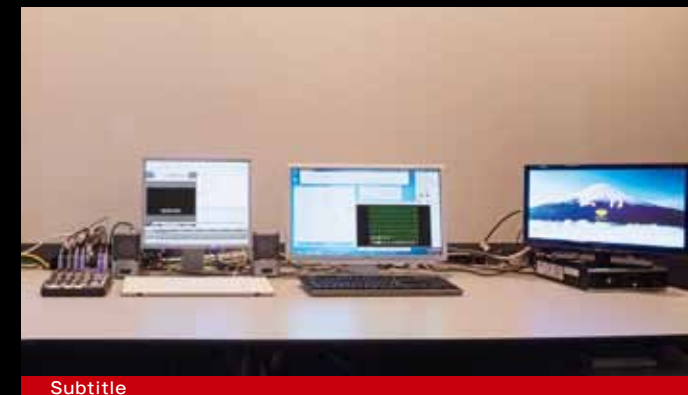
フィルム、テープ等をデジタルデータに変換、作品の関連情報(メタデータ)を入力することで、

様々な検索が可能になり、貴重な映像資産としての活用が可能になります。

出演者やロケ地など、映像のカットごとに、お探しの映像が瞬時に呼び出せる画期的なシステムです。

チェック環境を強化した字幕装置を導入。
字幕やクローズドキャプション作成ルーム、
Subtitleを完備。

5.1chサラウンド環境で
試写ができるPreview Room。
ブルーレイ、DVDなどの完パケチェックに。



Subtitle



Preview Room

Spec <MAM>

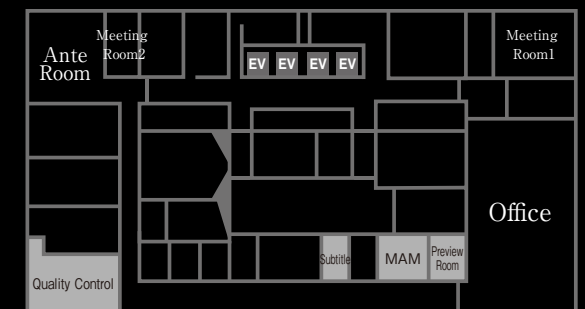
アーカイブシステム / AVID : Interplay MAM
スケールアウトNAS / EMC : Isilon X200
Layer3-Switch / cisco : 24ポートスイッチ Catalyst3560X
KVMコンソールドロワー /
ATEN : 19インチLCD一体型8ポートKVMドロワー
ビデオ変換ツール / harmonic : Rhozet Carbon Corder
ノンリニア編集機 / AVID : Media Composer MojoDX 7.0.3

Spec <Quality Control>

SONY : HDCAM HDW - 2100
SONY : HDCAM HDW - 1800
モニター / SONY : LMD - 2450W/SET

Spec <Subtitle>

字幕制作システム /
Videotron : EVC-500
クローズドキャプション字幕制作システム /
LSI : SEMDEC
LSI : ADM-3001
LSI : DJC-1001
LSI : VAI-1001
LSI : ADM-2501
LSI : DJC-1001
LSI : MVP-1102



スタジオという英知の森に築く、
木の温もりが優しい人に心地よい空間。

新作映画の製作から歴史的な日本映画の保存や修復を行うなど、松竹映像センター、そして背景にある松竹の企業文化と活動領域、長い歴史に敬意を表しました。松竹らしさである伝統とは、文化や英知という「森」ではないでしょうか。「木」という素材を織り込むことで、伝統を表現したいと考えました。1階ロビーやDubbingStageに見られる長方形のウッドパネル、AnteRoomや7階廊下の天井に見られるアクリル板は、縦横の比率が2:1です。これは日本の畳の比率であり、それをずらすことで視覚的なユニークさを表現しました。また、「透け感」にもこだわっています。障子や和紙から光が透ける様は、松竹が持つ懐の深さにも通じ、優しさと温かみを感じます。スタジオという場所は、最先端のテクノロジーが凝縮された場所であるとともに、人が中心の場所ではなくはなりません。技術というポテンシャルを最大限に生かすためにも、作業する人が心地よいと感じる、人のための空間をデザインしています。



コンセプトデザイン担当
Peter Grueneisen
ピーター・グルナイゼン
(nonzero\architecture and studio bau.ton)

東京・乃木坂のソニー・ミュージックスタジオや米国では映画音楽作曲家ハンス・ジマーの録音スタジオ、Dream Works Animationのダビングと録音スタジオ、ディズニー、ユニバーサル、20世紀フォックスの録音スタジオなどハリウッドのスタジオを多数手掛ける。

設計・施工:日東紡音響エンジニアリング株式会社

Ante Room

作品が完成した後のパーティーや打ち上げにもご利用いただける Ante Room。白を基調とし、天井にはアクリルの意匠を施した爽やかな空間で、くつろぎのひと時をお過ごしいただけます。



Meeting Room 1

会議室として十分な広さを確保したMeeting Roomをご用意しています。4Kモニターを備え、完成後の作品の上映会など、試写室としてもご利用いただけます。



会社概要

社名/株式会社 松竹映像センター(英語表記:Shochiku MediaWorX Inc.)

事業内容/

- (1) 映画・テレビ番組を始めとする全ての映像編集、DB/MA、字幕制作などのポスト・プロダクション業務
- (2) DVD/BDのオーサリング、プレス業務
- (3) DCPマスター制作及びコピー業務
- (4) CM、放送番組、パッケージソフトなどの映像収録業務
- (5) 映像ソフトの制作業務
- (6) 映像制作に関わる他社での請負業務
- (7) 映画・テレビ番組などの原版修復、管理、保存および活用支援業務
- (8) 配信に伴うポスト・プロダクション業務
- (9) ファイル変換、エンコード、マスタリング業務

事業所/

〒135-0091 東京都港区台場2-3-5 台場ガーデンシティビル7階

【TEL】

代表 03-6758-0248 営業部 03-6758-0240 管理部 03-6758-0241

ポストプロダクション部 03-6758-0242 メディア・アセット・マネジメント部 03-6758-0243

【FAX】

03-3528-1170

設立/1994年11月16日

開業/1996年06月19日

資本金/1億円

参加加盟団体/

一般社団法人 日本ポストプロダクション協会(JPPA)

一般社団法人 日本映画テレビ技術協会

沿革

- 1936年 1月 松竹撮影所を蒲田から大船に移設
- 1994年11月 神奈川県鎌倉市大船に、第三セクターの株式会社神奈川メディアセンターを設立
- 1996年 6月 ポストプロダクションとして同地で開業
- 2000年 6月 松竹大船撮影所を閉鎖
- 2007年 7月 社名を株式会社松竹デジタルセンターと改称、本社を大船から東劇ビルへ移転
- 2007年 8月 東京都港区高輪に新スタジオを開業、東劇オフィスを拡張
- 2011年 3月 大船サウンドスタジオ、松竹 編集部、松竹デジタルセンターを事業統合して社名を株式会社松竹映像センターとして再編
- 2014年12月 3拠点(東劇オフィス、高輪スタジオ、大船サウンドスタジオ)を港区台場に統合



交通 ゆりかもめ「お台場海浜公園」駅より徒歩1分/りんかい線「東京レポート」駅A出口より徒歩5分